

別紙1

1 指定技術

価格、お試し期間、対象者数等は、関係者への聞き取りによる令和6年4月24日現在での内容である。

実施にあたっては、発注者とお試し期間、対象者数等について仕様書4(2)その他業務運営に係る協議等会議において協議する。

技術番号	技術名	品目	区分	価格 (予定)	お試し期間 ※経営体等あたり	対象者数・ 産地数	企業名	備考
①	営農支援アプリ (収穫予測付き)	ほうれんそう及 びこまつななど	アプリ (LINE版)	1,000円/月・経営体	4か月程度/経営体	14経営体	持続未来(株)	-
			アプリ (EXCEL版)	5,000円/月・経営体				-
②	収穫予測日システム	カット用青ねぎ など	アプリ (EXCEL版)	5,000円/月・経営体	4か月程度/経営体	5経営体	持続未来(株)	-
③	自動収穫機	カット用青ねぎ	機械	年間償却額相当(本体 価格約5,500,000円) ※ほか輸送費が必要	5か月程度/経営体 期間のうち、農業者 間を都度移動させて 利用する。	5経営体	(株)ニシザワ	-
④	粒数推定アプリ	ぶどう	アプリ	無償提供	2か月程度/経営体	30経営体	山梨大学	-
⑤	摘粒支援アプリ	ぶどう	アプリ スマートグ ラス利用	10,000円/回・産地	1回/1日※利用は受 注者立ち合いのもと 実施	3産地 ※産地に複数の 者がテスト利用	山梨大学	スマートグラス (MicrosoftHoloLens2 など)と併せてお試し 利用サービス提供す る。
⑥	等級判定ステーショ ン	ぶどう	機械	15万円/台※ほか輸送 費が必要	2か月程度/産地	3産地 ※産地に複数の 者がテスト利用	山梨大学	利用にあたっては山梨 大学サーバーのデータ 通信が必要となる。

2 展示会

(1) 展示会実施時期（予定）

実施にあたっては、発注者（県）と開催地域、開催時期、主な役割の具体的内容及び関係機関との連携について開催時期の概ね1か月前までに仕様書4（2）その他業務運営に係る協議等会議において協議すること。

展示技術は、先の「1 指定技術」の技術番号に一致する。

展示技術	品目	開催地域	開催時期	日数	参加人数
①	ほうれんそう等	広島市	5月、9月	半日	各30人（関係者含む）
②、③	カット用青ねぎ	庄原市	7月	各半日	各20人（関係者含む）
		安芸高田市	9月		
		呉市	11月		
④、⑤	ぶどう	三次市（東酒屋町、三良坂町）	5月	1日（各半日）	各20人（関係者含む）
		福山市		半日	
⑥		三次市（東酒屋町、三良坂町）	8月	1日（各半日）	各20人（関係者含む）
		福山市		半日	

(2) 主な役割

項目	役割
全体運営（募集、技術保有企業等との出展調整、開催当日の運営）	受注者
展示技術の操作説明	技術保有企業等
お試し利用サービスの説明及び申込勧誘	受注者